

申請日	申請者	課題名	承認の有無	備考
H25.10.31	辻神経内科医師	抗てんかん薬を長期内服している患者のVitD代謝に関する研究	承認	
H25.10.31	宮本輸血療法委員会委員長	「輸血拒否患者への対応」マニュアルの妥当性について	承認	

## 倫理審査委員会議事録

1. 開催日時 平成25年12月19日(木) 14:00～14:45
2. 開催場所 会議室
3. 出席者 副院長、事務部長、看護部長、薬剤科長、外科系診療部長、  
内科系診療部長、外部委員:木崎一憲、岸田吉明  
以上8名出席

※ 独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院、倫理審査委員会規程第7条第2項の規定により3分の2以上の出席が得られたので開催する。

4. 審議議題 以下の課題につき、別紙申請書に基づいて申請者から研究内容の説明があり、委員からの質疑の後、審議結果となった。

◇受付番号 25-1

◇課題名 抗てんかん薬を長期内服している患者の VitD 代謝に関する研究

◇申請者名 神経内科医師 辻 佑木生

◇質疑内容

- ・神戸大学を中心に行われている共同研究で、神戸大学の方では既に倫理審査委員会において承認を得ている研究になる。
- ・患者への金銭的負担は発生しないのですか。→保険適用外の項目に関しては、神戸大学へ検体を送り、研究費で検査を行う。それ以外の保険内の検査については、通常の診療の際に行う検査項目であり、金銭的な負担は発生しません。
- ・採血量は通常の診療の際に採取する残量を神戸大学へ送るのですか。→通常よりも6 CC 多めに採取します。
- ・長期臥床している患者で抗てんかん薬を使用している人と使用していない人のデータを比較するのですか。→そのとおりです。
- ・同意書は患者本人から取るのですか。→意思疎通のとれる患者は2人でそれ以外はキーパーソンから同意書をとります。
- ・特に問題はないと思われます。

◇審議内容

- ・倫理上の問題無く承認とする。

◇審議結果

- ・承認

◇受付番号 25-2

◇課題名 「輸血拒否患者への対応」マニュアルの妥当性について

◇申請者名 輸血療法委員会委員長 宮本 良文

◇質疑内容

- ・マニュアルの内容について説明
  - 当院のマニュアル整備にあたっては、「宗教的輸血拒否に関するガイドライン」に従って作成しているが、ガイドラインにない「緊急時の対応」という項目を入れている。
- ・ガイドラインと異なるところは、緊急時の対応だけですか。
  - そのとおりです。
- ・倫理上の問題がないか検討します。→問題なし。

◇審議内容

- ・倫理上の問題無く承認とする。

◇審議結果

- ・承認